

社会資本整備総合計画
J R 白山駅周辺地区都市再生整備計画

平成25年3月

新潟県新潟市

都市再生整備計画(第6回変更)

はくさんえきしゅうへんちく
JR白山駅周辺地区

にいがたけん にいがたし
新潟県 新潟市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標および計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	JR白山駅周辺地区	面積	42.5 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標

- 大目標:人々が交流するまちづくり。
 目標1:交流施設などの活性化。
 目標2:交通結節機能の強化。
 目標3:歩行者の安全性・利便性の向上。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

JR白山駅周辺地区は、信濃川と日本海、関屋分水に囲まれた、多くの公共施設や業務施設等が集積する地区である。かつての信濃川が低湿な新潟平野に大きな水害をもたらすことから、信濃川の氾濫を抑えるため大正12年に大河津分水が通水し、この完成により、川の両岸を埋め立てる工事(770mから270mに縮小)が行われ、現在の白山駅南側も埋立地として造成された。その後新潟県立がんセンター等が建設され、市街地化が進んでいる。

以前は、蔵所堀という堀があり、人々や物資を運ぶ役割を担っていたが、昭和39年の第19回新潟国民体育大会の開催に合わせて街の整備を進めることとなり、昭和37年に堀は埋め立てられ、現在の国道116号として整備され、当地区と周辺地域を結ぶ主要な幹線道路として位置付けられている。また、昭和8年に新潟交通電車線が全線開通し、当地区の沿線住民の足として活躍したが、利用者減少や、騒音・振動などの問題により、平成11年に全て廃線となり、現在は新潟交通の路線バスが旧電車線を並行する形となっている。

当地区にはJR白山駅を中心として、駅北側には白山市場や白新地区ふれあい福祉センター、駅南側には新潟県立がんセンター病院や新潟理容美容専門学校があるなど、多くの公共施設や業務施設等が集積する地区となっている。

白山市場は、白山地区のまちづくりの核となる施設である。約40店舗が並び、地元住民で賑わっているが、今後さらなる活性化を図り、白山地区内外からの利用者を増やすため、現在検討されている白山地区と、新潟駅周辺地区や古町地区とを結ぶシャトルバスの運行などを活用していく必要がある。

白山駅については、越後線の中では最大乗降客数(10,242人/日(平成18年度データ))の駅となっているが、駅へは北側からのみ利用可能な状況となっており、バスの乗り入れスペースが無いことなど、公共交通利用促進の点からも乗り換え機能の効率化及び機能強化が求められている。

また、白山駅の周辺には、新潟県立がんセンター病院などの医療施設や白新地区ふれあい福祉センターなどの高齢者等が多く利用する施設が集積しているが、歩行空間の連続性が確保されていない箇所がある。地元からは白山駅の南北を結ぶ自由通路の設置により、南側から直接、駅利用が可能になるよう要望がなされている。

課題

- 既存の交流拠点をより活性化させる必要がある。
- 駅前広場などの交通拠点整備を推進し、交通アクセスの利便性の向上を図る必要がある。
- バリアフリー施設を整備することにより、歩行者にとって、安全で快適な歩行者空間を整備する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本地区における上位計画上の位置付けは次のとおり。
 新潟市新総合計画:「利便性の高いバスなどの公共交通機関網の整備により、誰もが安全で快適に移動できるまちなかの交通環境の創出を図る。」
 「地域コミュニティーの充実を支援し、住む人や訪れる人にやさしいまちづくりを進める。」
 新潟市都市計画マスタープラン:「芸術・文化・スポーツの拠点及び情報発信基地として、また業務機能が集積する都心の形成を目指す。」
 新潟市交通バリアフリー基本構想:「旅客施設、周辺の道路、駅前広場等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進する地区」として位置付けられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
白山市場の出店数	店舗/日	白山市場における一日あたりの出店数。	地区内の活性化を図る指標として、白山地区のまちづくりの核となる白山市場の利用者が増加し活性化することにより、出店者数も増加すると考えられるため、出店数を10%増加させることを目標とする。	43	H18	50	H24	
まちづくり勉強会等開催回数	回/年	単年度あたりの、まちづくり勉強会等開催回数。(白山駅周辺まちづくり勉強会等)	拠点施設の活性化やにぎわいを図る指標として、地区内で開催する、まちづくり勉強会等の開催回数を目標とする。	0	H18	2	H24	
アクセス時間の短縮	分	白山駅から新潟県立がんセンターへの移動時間の短縮。	利便性の向上を把握する指標として、白山駅から周辺の施設への移動時間が短縮することを目標とする。	6	H19	3	H24	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○既存の交流施設の活性化</p> <p>白山市場や白新地区ふれあい福祉センターなどの既存の交流施設をより活性化することにより、地区内外の人々の交流の活性化を図ります。</p>	<p>◇ 白山駅周辺まちづくり勉強会等(提案事業:まちづくり活動推進事業)</p>
<p>○駅前広場などの交通拠点整備の推進、交通アクセスの利便性の向上</p> <p>駅前広場などの整備により、白山駅の交通結節機能の強化を図り、バスが乗り入れが可能となるため、新潟駅周辺地区と古町地区とのシャトルバスの運行など、公共交通の利用促進を図ります。</p>	<p>■ 市道寄居浜女池線2号(白山駅北口駅前広場)(基幹事業:道路)</p>
<p>○歩行者の安全性・利便性の向上</p> <p>駅前広場や自由通路などの整備により、地区内のバリアフリーを推進し、歩行者にとって安全で快適なまちづくりを目指します。</p>	<p>■ 白山駅南北自由通路(基幹事業:道路) ◇ 白山駅既存ホーム改良(提案事業:地域創造支援事業)</p>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,332	交付限度額	532.7	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	736	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	294.345		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	596	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	238.355		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道寄居浜女池線2号 (白山駅北口駅前広場)	新潟市	直	W=20m、L=約40m A=約3,400㎡	平成20年度	平成27年度	平成20年度	平成23年度	631	631	631		631
		白山駅南北自由通路	新潟市	直	W=6m、L=約45m	平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成23年度	46	46	46		46
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-			-									
高質空間形成施設		-			-									
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										677	677	677	0	677

…A'

基幹事業②地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道寄居浜女池線2号 (白山駅北口駅前広場)	新潟市	直	W=20m、L=約40m A=約3,400㎡	平成20年度	平成27年度	平成24年度	平成24年度	286	286	286		286
		白山駅南北自由通路	新潟市	直	W=6m、L=約45m	平成21年度	平成26年度	平成24年度	平成24年度	285	285	285		285
公園														
河川														
下水道		-			-									
合計										571	571	571	0	571

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降を記載

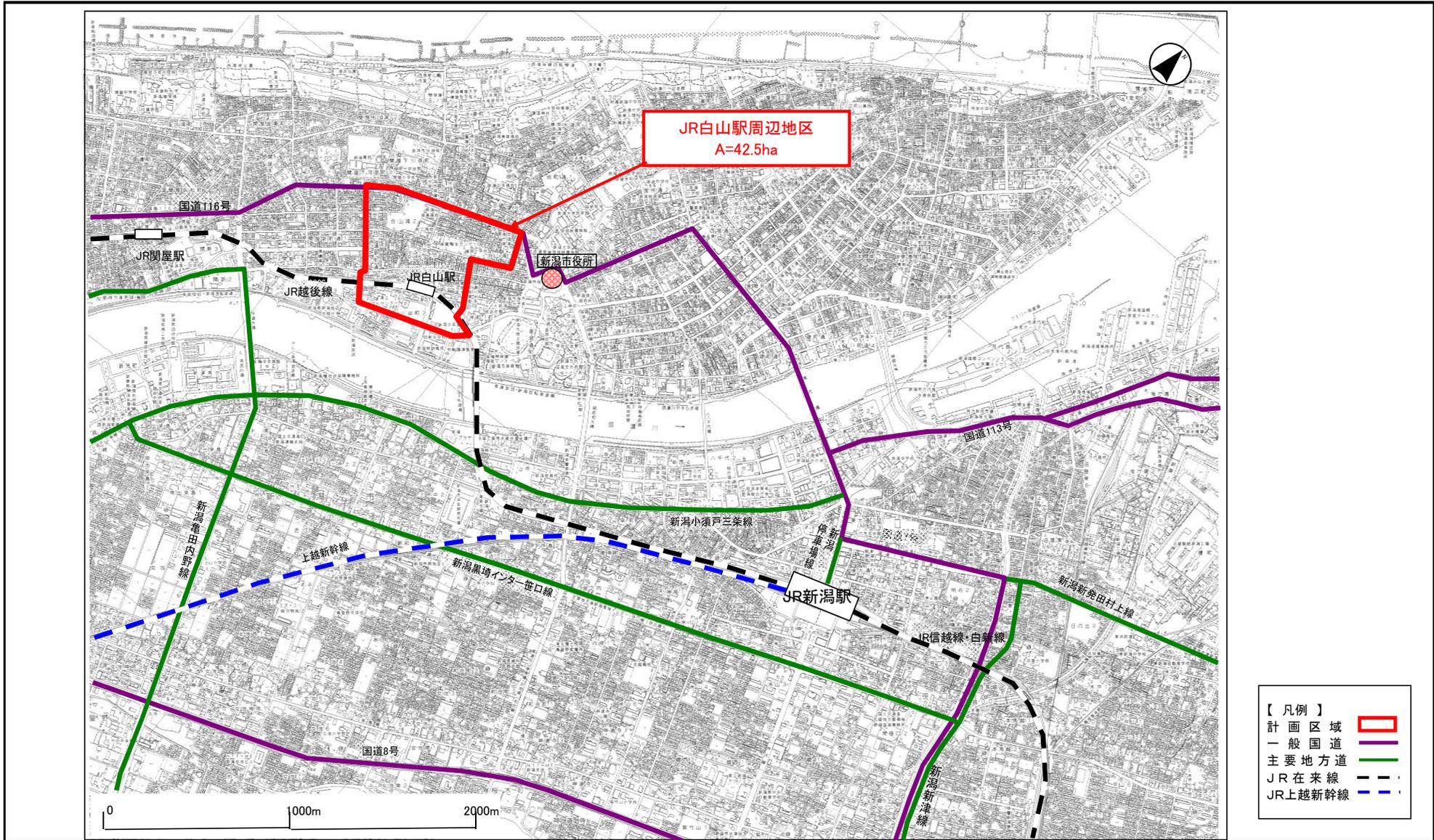
…A''

基幹事業 総計(①+②)														
総計										1,248	1,248	1,248	0	1,248

…A=A'+A''

都市再生整備計画の区域

<p>JR白山駅周辺地区(新潟県新潟市)</p>	<p>面積 42.5 ha</p>	<p>区域 関屋田町1丁目、白山浦新町通の一部、白山浦1丁目の一部、白山浦2丁目の一部、川岸町1丁目の一部、川岸町2丁目の一部、川岸町3丁目の一部、</p>
--------------------------	-----------------------	--



JR白山駅周辺地区(新潟県新潟市) 整備方針概要図

目標	人々が交流するまちづくり。	代表的な指標	白山市場の出店数	(店舗/日)	40店舗/日 (H18年度)	→	50店舗/日 (H24年度)
			まちづくり勉強会等開催回数	(回/年)	0回/年 (H19年度)	→	2回/年 (H24年度)
			アクセス時間の短縮	(分)	6分 (H19年度)	→	3分 (H24年度)

